

OLSBERG

設置要領書 Installation Manual

オルスバーグ蓄熱式電気暖房器

ファンレスシリーズ 14-60_9B

重要事項

- ①電気配線および接続工事は、内線規定に基き有資格者によってなされなければなりません。
- ②工事や点検・修理に際しては、事前に必ず配電盤の元電源を切ってください。
- ③設置床は、十分な耐荷強度を有し水平で凸凹がないこと。
 - 機器重量については、10ページの仕様欄をご参考下さい。
- ④安定性を維持する為に、本体が水平面上に置かれる事が重要です。
 - カーペットや畳等不安定な床面上には設置できません。
- ⑤本器は壁にしっかり固定されなければなりません。
 - 壁は、転倒防止金具の固定に十分な下地補強がされていること。
- ⑥使用中は表面が熱くなります。可燃物に対する離隔距離は、背面で10mm、上面で200mm 側面で150mm、前面が500mm以上です。
- ⑦蓄熱レンガの密封は、同梱の断熱材を用いて完璧に行ってください。
 - 詳細は4～6ページの「組立作業」編をご参照下さい。
- ⑧当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により保険金が支給されます。
- ⑨BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページをご覧ください。(http://www.blhp.org/)

お断り

- ①試運転や初めて通電した時に、煙や臭いが出る事もありますが異常ではありません。
 - 初期の運転(通電)時に限り見られる現象です。
 - ヒーター素子に塗られた錆止め油等付着物によるものです。
 - 蓄熱量の設定方法は、取扱説明書をご参照下さい。
 - 窓を開けたり換気扇を回す等の処置をし、部屋は十分な換気状態に保ってください。
- ②暖房器の性質上、不規則音の出る事がありますが異常ではありません。
 - 蓄熱温度に起因した筐体の熱膨張・伸縮が原因です。
 - 性能や安全性については、何ら問題はありません。

蓄熱式電気暖房器が転倒した場合の処置

「万が一、蓄熱式電気暖房器が転倒した場合、基本的には転倒検知センサーの作動により電源が遮断されますが、念のためお手を触れずに電源をお切り下さい。(ブレーカーを落とす)
また、すみやかに販売店、または工事店に連絡して下さい。

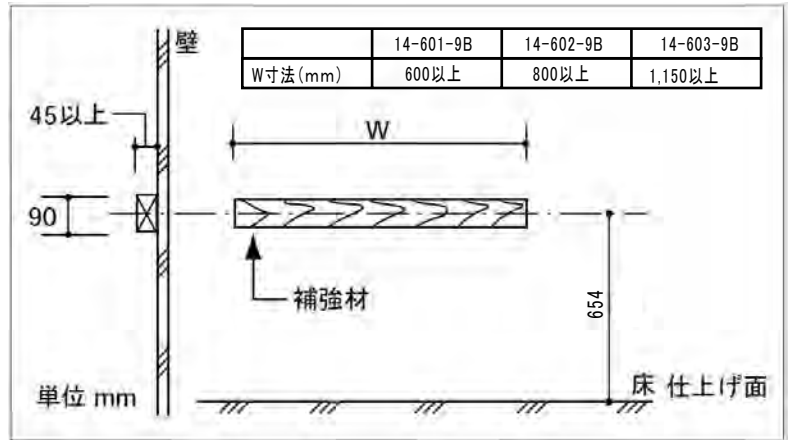


本器の設置にあたっては、正しい施工により安全性と正常な機能や性能が確保されますと共に効率的に作業ができますよう、この設置要領書を事前にお読み頂き参考にして下さい。

事前の点検確認 ※不具合がある場合は、その内容を関係者に伝え、手直しを要請してください。

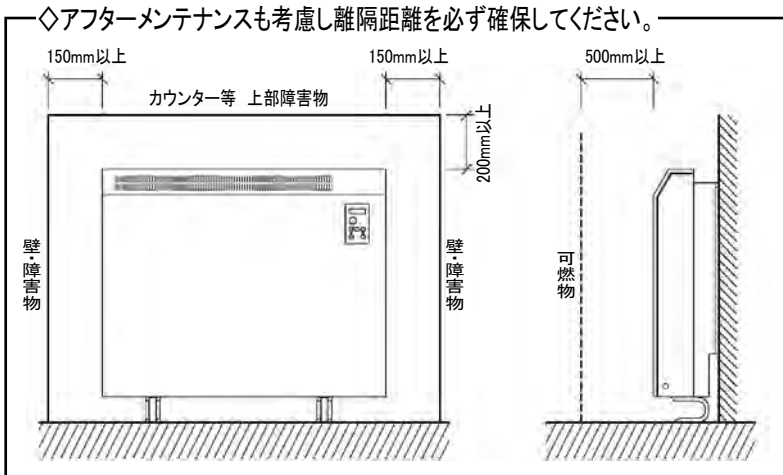
■設置場所の下地補強

- ①設置床の強度、仕上げ材および水平度を確認する。
- ②転倒防止金具を取付ける壁下地の有無を確認する。
- 暖房器の安定を確保する為に、水平面上に置かれる事が重要です。
- タタミやカーペット等不安定な床の上に設置する事はできません。
- タイル床等、素材の凸凹により設置面の水平が確保できない場合、厚さが24mm以上で本体と概ね同じ大きさの敷板の上に設置下さい。



■障害物・可燃物に対する離隔距離について

- ①安全確保のため離隔距離は必ず確保してください。
- 思わぬ故障の原因となったり、焼損などの被害を与える恐れがあります。
- 離隔距離が不足すると暖房効率が低下します。



※この離隔距離は、本体を正常に動作させる為に必要な寸法であり、周囲の壁や棚等に対する影響を保証するものではありません。

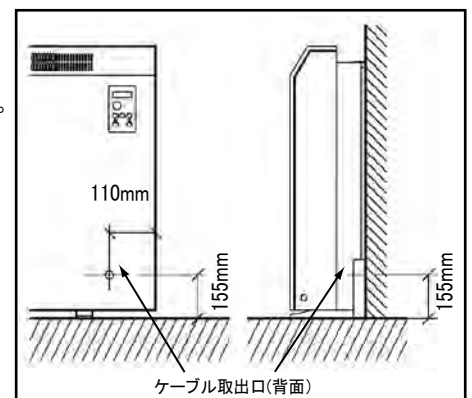
※付属の転倒防止金具により、背面の離隔距離は10mm確保されます。

※左記の離隔距離が確保できない場合は、別紙承認図をご確認ください。

■電気配線について

- ①一次側電源は、本体側電源ケーブル取り出し口付近に配線されている事。(左図参照)
 - ②200V用配線と共にアース線が配線されている事。
 - ③内線規定に基づいた配線がされていること。
- ※深夜電力契約の場合、電源部の繋ぎ変えをすることで、100Vにてマイコンの作動が可能です。100V用耐熱ケーブルはオプションです。
- (P8「回路図」の「100Vにて制御回路に給電する場合(2電源方式)」参照)

機種型番	定格容量	ブレーカー容量	電源ケーブル仕様サイズ
14-601-9B	単相200V 1.3kw	15A	600V 2.5mm ² (約1m付属)
14-602-9B	単相200V 2.15kw	20A	600V 2.5mm ² (約1m付属)
14-603-9B	単相200V 3.4kw	30A	600V 2.5mm ² (約1m付属)



※背面の離隔距離は10mmですので、ケーブルの取り出し位置にご注意ください。

設置工事の段取り手順

■構成部材の確認

- ①本体と必要な蓄熱レンガの数量を確認します。
 暖房器本体と蓄熱レンガは別々の梱包で出荷されます。
 暖房器、梱包に使用されている材料の殆どがリサイクル可能な材料で作られています。

	14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
SP36	0	2	8
SP38	2	2	0

- ②同梱部品を確認する。

- 脚部×2
- 脚部用ボルト×4
- 床固定用コーチスクリュー×2
(上記用ワッシャー×6セット)
- 壁面固定用ビス(4.5×5)×5
(上記ビス用ワッシャー×5)



脚部固定用ボルト 床固定用コーチスクリュー



壁固定用ビス

◇壁固定用ビス使用本数		
14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
3本以上	4本以上	5本



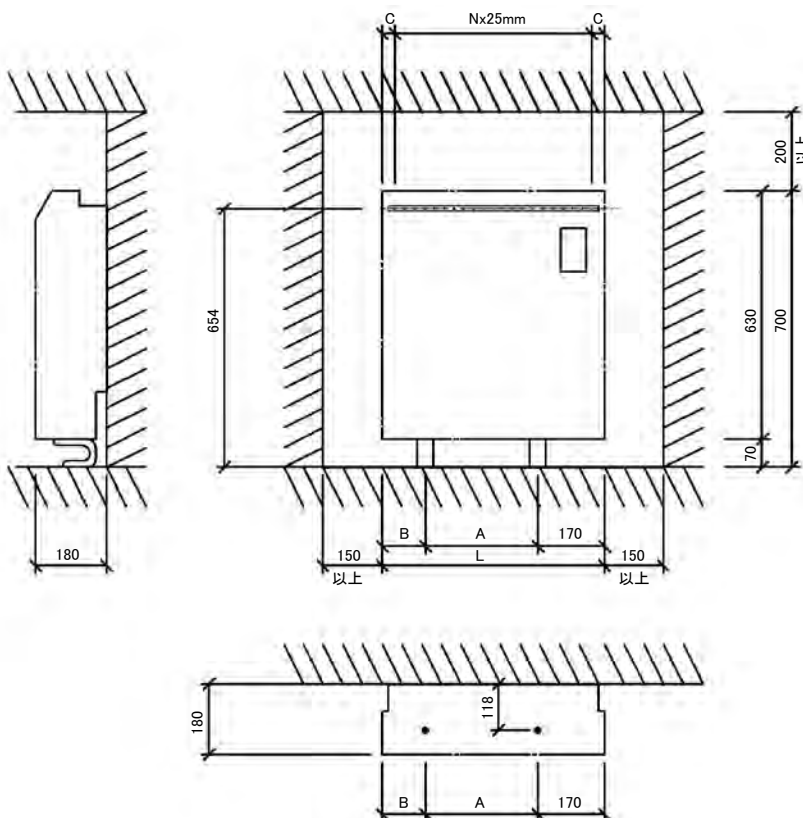
脚部固定用ボルト

床固定用コーチスクリュー

壁固定用ビス・ワッシャー

- ③転倒防止金具を取り付ける壁下地の有無を確認する。
 P2「設置場所の下地補強」とP3「各部詳細寸法図」を参照。

■各部詳細寸法図



	14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B
A	285	475	805
B	110	140	140
C	32.5	42.5	32.5
L	565	785	1115
N	21	29	43

※Nの数値は転倒防止金具のビス穴の数です。

組立作業

1. 本体の開梱



① 天地を逆にして底面から開梱し、底面のパッキン材を外し、脚部とパーツバッグを取り出してください。



② 脚部を付属のボルトで本体に固定してください。



③ 脚部を持って引き上げ梱包材より本体を引き出してください。

2. 壁固定金具の取り付け



① 本体より壁取付金具を取り外してください。

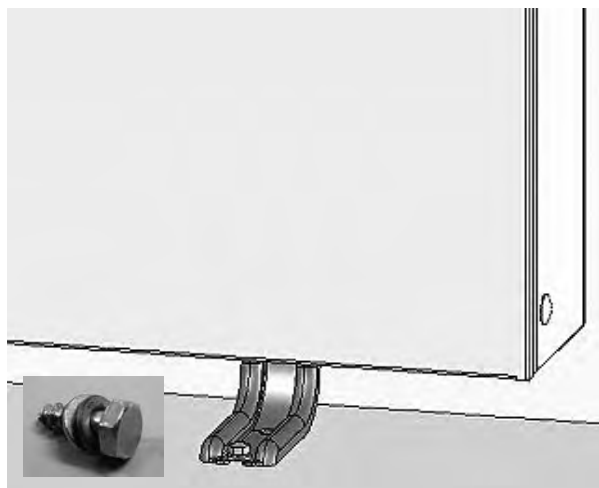


② 設置場所の壁面に壁取付金具を固定してください。

— 施工手順についての注意事項 —

- ・蓄熱レンガの自重により、蓄熱レンガ組み込み後に数ミリ本体が沈みます。
- ・蓄熱レンガを組み込んだ後、転倒防止金具及び脚部固定を行ってください。
- ・壁面固定は同梱の4.5x50mmのビスにワッシャーを掛け使用してください。
- ・転倒防止金具のビス芯は、床仕上がり面より+654mmとなります。

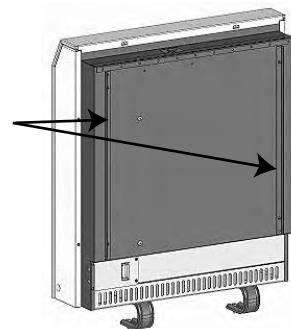
3. 床固定



① P3の「各部詳細寸法図」を参考にしながら、床固定用ビス位置の墨出しをし、3.5mmのドリルで下穴を開けます。

② 電源接続をした後、本体と壁固定金具を固定します。
(背面パネルの縦のアンクルが壁に当たっている事を確認してください)

③ 付属のコーチスクリューにワッシャーとスプリングワッシャーを掛け脚部を床に固定します。
※地震による転倒を防止す為、必ず床に固定してください。



4. 蓄熱レンガの組み込み



①両側面下部にあるビスキャップを外し、前面パネル固定ネジを外します。



②前面パネル下部を手前に引きながら上に持ち上げると前面パネルが外れます。



③前面パネルと前面インナーパネルの間にある発泡スチロールのパッキン材を取り除き、インナーパネルを固定しているビスを全て外します。



④インナーパネルの上方を手前に引きながら上に持ち上げるとインナーパネルが外れます。



⑤インナーパネルの内側にはマイクロサーム断熱材が取り付けられておりますので、取り外しに注意下さい。



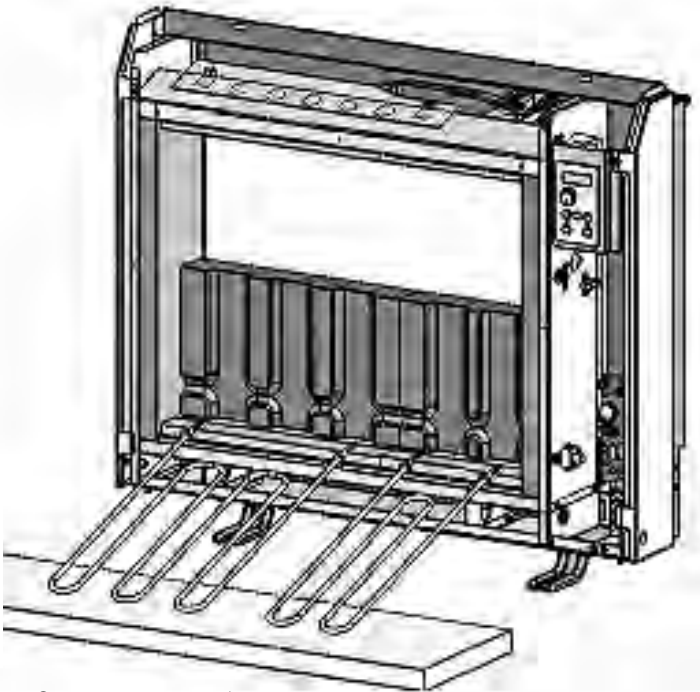
⑥ヒーターを固定している発泡スチロールのパッキン材を取り除きます。



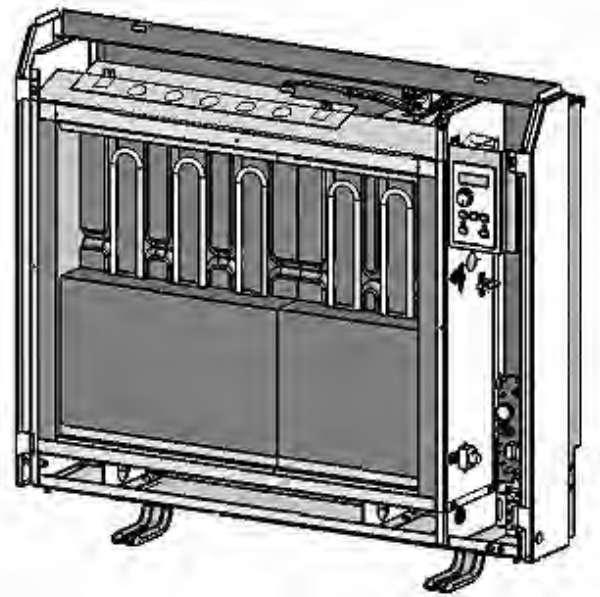
⑦ヒーターを上方に持ち上げると底部断熱材からヒーターが抜けますので、手前側に倒して下さい。

— 注 意 —

- ※ヒーターで床を傷つけないようパッキン材等で床養生をしてください。
- ※ヒーター素子には、リードケーブルが接続されています。
蓄熱レンガ組込み時に無理に引き上げるとリードケーブルが端子より外れる事がありますので、注意して作業を行なってください。



⑧背面側の蓄熱レンガを組み込みます。
※ヒーターを逃がす為に凸凹加工がされている面が内側にきます。



⑨ヒーター素子を元の位置に戻してから、手前側の蓄熱レンガを組み込みます。
※ヒーターを逃がす為に凸凹加工がされている面が奥側にきます。



⑩取外しと逆の手順でインナーパネルを取付けビスで取り付けます。
※インナーパネルに取り付けられているマイクロサーム断熱材を痛めない様に十分注意してください。



⑪取付けと逆の手順で前面パネルを取付けビスで固定、ビスキャップを取付けてください。

■機種別使用レンガ一覧

	SP36	SP38
14-601-9B	-	2
14-602-9B	2	2
14-603-9B	8	-

設置工事後の点検

- ①暖房器本体の200Vコードとアースコード間の絶縁抵抗値が0.2MΩ以上ある事を確認します。
※設置直後や暖房シーズン初めには湿気により絶縁抵抗値が低下している場合がありますが、一度通電すると乾燥して回復します。
- ②200Vブレーカーを上げ、操作パネルの「追焚き」ボタンを押し、追焚き運転を行います。
- ③本体内部の200V端子台に接続されているN又はLの電源ケーブルや、配電盤の200Vブレーカー部でクランプメーターを使用し電流値を測定します。
※所定の電流値が流れている事を確認ください。
※初期の蓄熱時に臭いや煙の発生場合がありますので、施工後に必ず試運転を兼ね蓄熱を行ってください。

■機種別電流値

	電流値
14-601-9B	6.5A
14-602-9B	10.8A
14-603-9B	17.0A

時計の確認

- ①200V電源ブレーカーをONにすると数秒間のセルフテストの後、通常表示が表示されます。
- ②現在時刻を確認し、誤差がある場合は取扱説明書の「時計修正の方法」を参考に時計を合わせてください。

※時計は工場出荷時にプリセットされておりますが、お使いになる時は現在時刻をご確認頂き、ずれが生じている時は時計を合わせてください。（取扱説明書 P8「時計合わせ」参照）

※時計誤差の関係でずれが生じる事があります。年に一度使いはじめには現在時刻の確認をしてください。

※停電補償期間は10年です。

※200Vブレーカーを再投入した時に、時計が「00:00」にリセットされる場合、CPU基板上のバックアップ電池がソケットにしっかりセットされているか確認し、改善が見られない時はバックアップ電池の消耗が考えられます。（バックアップ電池「CR2032」）

ディップスイッチの設定について



取扱注意

設置後の設定変更は電力契約の内容に基づきます。誤った設置は高額な電気料金や誤作動の原因になりますので詳しくは販売店にお問い合わせください。

オルスバーグ ファンレスシリーズのマイコンは、タイマー機能をプログラム上で持っております。各電力会社の電力メニューに合わせてCPUボードのディップスイッチを切り替える事で運転モードを切替える事ができます。

モード	ディップポジション	設定内容
0		時間帯別電灯契約8時間(23時～7時)
1		時間帯別電灯契約9時間(23時～8時)
2		時間帯別電灯契約10時間(22時～8時)※8時蓄熱完了
3		深夜電力契約8時間(23時～7時)
4		モード「0」と同じ
5		時間帯別電灯契約8時間(22時～6時)
6		時間帯別電灯契約8時間(24時～8時)
7		メンテナンスモード(通常運転には使用不可)※1
8		深夜電力契約8時間(22時～6時)
9		深夜電力契約8時間(21時～5時)
10		深夜電力契約8時間(24時～8時)
11		深夜電力契約8時間(1時～9時)
12		深夜電力契約9時間(23時～8時)
13		時間帯別電灯契約10時間(22時～8時)※7時蓄熱完了
14		メンテナンスモード(通常運転には使用不可)※1
15		メンテナンスモード(通常運転には使用不可)※1

※1については最寄の弊社営業所に確認願います。

※プログラム上でタイマー機能を持っておりますので、停電等により電源供給が止まっても、設定が消えてしまう事はありませんので、再設定の必要がありません。

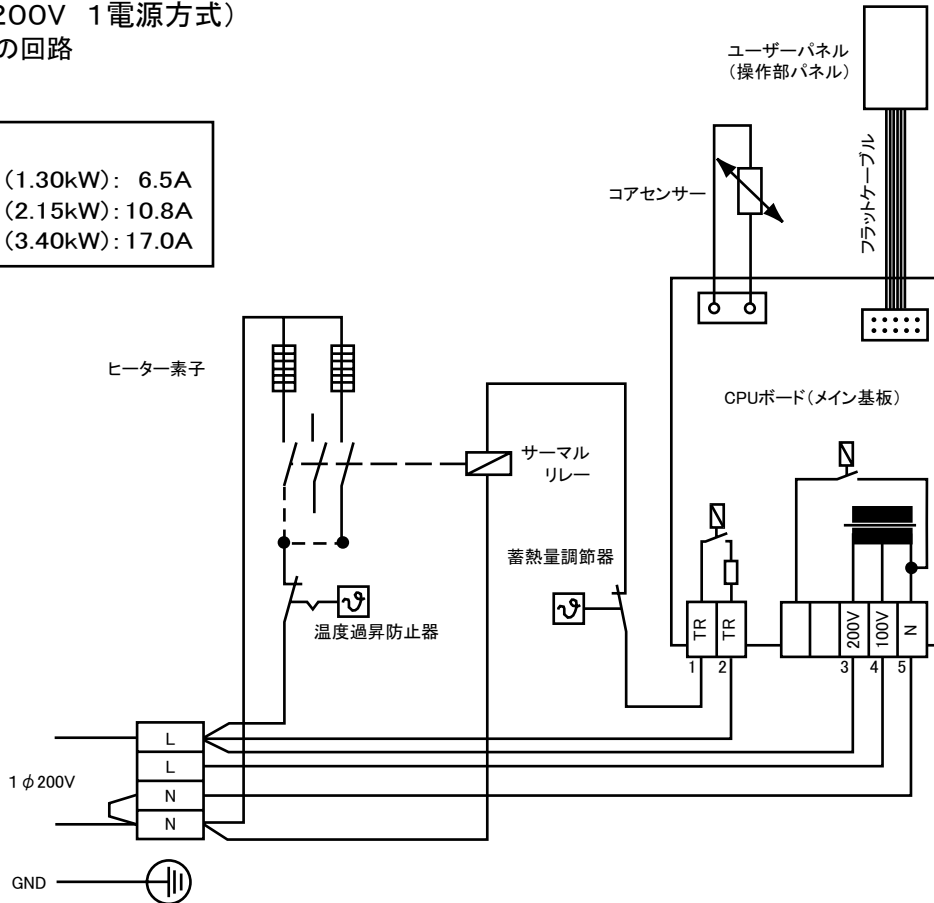
※工場出荷時はモード「0」又は「4」に設定されております。【時間帯別電灯契約8時間(23時～7時)】

※各電力メニューの夜間電力終了時刻に合わせて通電制御機能が働きます。

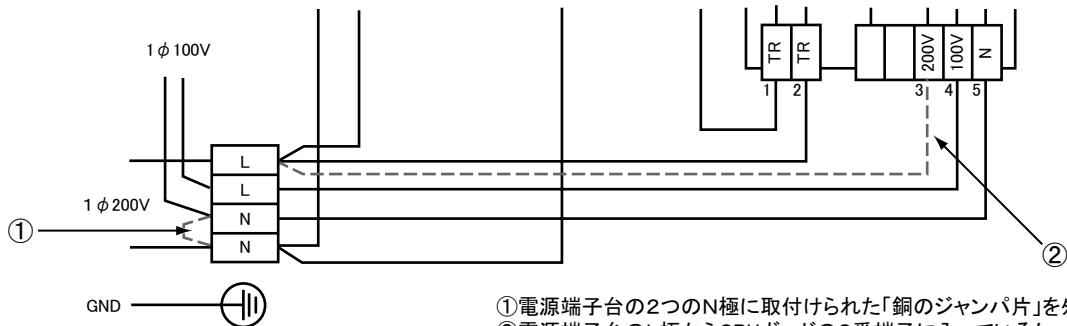
回路図

◇標準回路（200V 1電源方式）
※工場出荷時の回路

電流値	
14-601-9B (1.30kW)	6.5A
14-602-9B (2.15kW)	10.8A
14-603-9B (3.40kW)	17.0A



◇100Vにて制御回路に給電する場合（2電源方式）



- ①電源端子台の2つのN極に取付けられた「銅のジャンパ片」を外す。
- ②電源端子台のL極からCPUボードの3番端子に入っているケーブルを外す。
電源端子台側はケーブルを端子台から外し、CPUボード側はコネクター部でケーブルをカットしてください。
(回路図上、共に点線で表記されています)

注意！！ 回路変更を行う前に、電源ブレーカーがOFFになっている事を必ず確認してください。

銘板シール

型番 — **型番 14-601-9B** 2) 78/4414.6019

相：単相
定格電圧 及び、蓄熱部 200V / 1.30kW
定格消費電力 制御部 100V又は200V/2W
定格周波数：50/60Hz
定格時間：8 時間
重量：70kg
オルスバーグジャパン株式会社

01G1400526

- 製品に関するお問い合わせ、修理対応の際は必ず該当機種の型番と製造番号をお知らせ下さい。
- 銘板シールは本体の右側面パネル下部に貼られております。

製造番号

エラー表示

■蓄熱式電気暖房器が異常を検知するとディスプレイにエラー番号を表示します。

- 「表示の内容／対処方法」をご確認頂き、解消されない場合は販売店までご連絡ください。
※ご連絡の際、右側面パネルの銘板シールで機種名、製造番号をご確認ください。

エラーコード	不具合内容	停止機能	解除方法
#2	コアセンサー温度の読込不具合。 ※コアセンサー又はケーブルの不良により発生。	蓄熱動作停止	自動解除 ※ノイズ情報等により「発生した場合は、エラー情報が消えると自動的に解除。
#3	蓄熱動作に不具合があった場合。 ※蓄熱終了時のコアセンサーの検知温度が蓄熱開始時の検知温度より低い場合に表示。	蓄熱動作停止	「解除エラー」モードで解除
#4	転倒検知センサーが作動した場合。 ※15度以上の傾きを検知すると表示。	全電源を遮断	200V電源の再投入 ※100Vにて給電を行っている場合は、100V電源も再投入。
#5	CPU基板又は操作部パネルの周囲温度が高い場合(80℃以上)	全電源を遮断	自動解除 ※基板周辺温度が70℃以下になると自動解除。
#7	時刻表示不具合	エラー表示のみ 機能の停止なし	曜日、時刻の再設定(注1)
#8	CPU基板の不具合	表示のみ(注2)	「解除エラー」モードで解除または電源の再投入(注1)
#9	操作部基板の不具合	#8を参照	#8を参照

※「#1」のエラーコードはありません。

(注1) 曜日、時刻の再設定の後、電源を再投入した場合に再度エラーが表示される場合はCPU基板に不具合が発生しております。

(注2) RAMメモリー内部に不具合がある場合に発生します。但し、履歴には残りません。

エラーが発生した場合、エラー番号がディスプレイに表示され、バックライトが常時点灯します。
新しいエラーが発生した場合には「新設」という文字も同時に表示されます。
エラーが解除されるとエラー表示が消え、バックライトも少し間をおいて消灯し通常表示に戻ります。

蓄熱しない・蓄熱量が少ない場合の点検

■「追焚き」ボタンを押し、クランプメーターにて電流値の確認をして下さい。

※サーマルリレーの特性上、電流が流れ始めるまでに数分のタイムラグがあります。

- ①200V電源端子台に正規の電圧が掛かっている事を確認ください。
- ②サーマルリレーのポジスター部に200Vの電圧が掛かっているか確認してください。
- ③温度過昇防止器の導通を確認してください。
- ④ヒーターの導通を確認してください。
- ⑤上記の点検で異常が認められない場合、200V電源を再投入し再確認頂いたうえで弊社までお問合せください。

製品仕様書

型番		14-601-9B	14-602-9B	14-603-9B	
定格	蓄熱部	電圧(V)	単相200V		
		容量(kW)	1.30kW	2.15kW	3.40kW
	制御部	電圧(V)	単相200V(電源部の繋ぎ替えで100V駆動可能。100V耐熱ケーブルはオプション)		
		容量(W)	200V 2W (100V接続時は2W)		
蓄熱レンガ	素材	フェオライトを主体とした特殊セラミック			
蓄熱レンガ 使用箱数	SP36	—	2	8	
	SP38	2	2	—	
定格時間(h)		8			
定格蓄熱(kWh)		10.4	17.2	27.2	
最大蓄熱量(kW)		8.60	14.53	22.85	
最大蓄熱率(%)		82.7	84.5	84.0	
ヒーター素子	素材	ステンレスシーズヒーター			
	使用ヒーター	1.3kW x 1	0.85kW x 1, 1.3kW x 1	1.7kW x 2	
断熱材		マイクロサーム・ヴァーミュキュライト・グラスファイバー			
蓄熱量調節		HT PT100センサー (110℃ OFF) 無段階調節			
放熱量調節		パイメタル駆動による自動開度調節ダンパー			
安全装置	温度過昇防止器	OFF:160℃ 手動復帰型		OFF:165℃ 手動復帰型	
	転倒検知スイッチ	フォトセンサー : 360度の方向に25度の傾きで通電カット			
	転倒防止機構	壁面固定用転倒防止金具、脚部にて床固定			
	耐雷サージ機能	トランス式:制御電源回路に装着			
電源ケーブル		200V耐熱ケーブル 3芯 2.5mm ² 約1m付属(100V耐熱ケーブルはオプション)			
寸法	幅(mm)	565	785	1,115	
	高さ(mm)	700 (オプションの短脚使用時 : 650)			
	奥行(mm)	180 (転倒防止金具10mm含む)			
重量(kg)		70	111	172	
筐体	材質	亜鉛メッキ鋼板(t=1mm)			
	塗装	焼付け塗装			
	色(番号)	ピュアホワイト(RAL9010)			

MEMO

OLSBERG

オルスバーグジャパン株式会社

〔本 社〕 〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル6F
TEL 03(5805)5901 FAX 03(5805)5902

〔仙台営業所〕 〒983-0861 仙台市宮城野区鉄砲町72-2 ポヌールエスト
TEL 022(292)7191 FAX 022(292)7192

〔札幌営業所〕 〒062-0042 札幌市豊平区福住2条10丁目1-10
TEL 011(853)9900 FAX 011(853)9911

〔北陸営業所〕 〒939-8136 富山県富山市月見町1丁目44番地
TEL 076(429)2602 FAX 076(429)2604